



YMCA

大阪青年

2011. 5 May

No. 639

月刊 The YMCA 付録
編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地
大阪青年 発行: 末岡祥弘 編集: 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6
TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
URL:http://www.osakaymca.or.jp/
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

インデックス

- 1面 松永貴志さんインタビュー 地の塩
- 2面 卒業生の声 食育コラム 風の人士の人 (ミャンマー)
- 4面 YMCA通信 東日本大震災 復興支援活動

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

大阪YMCAは、「人が中心となるネットワーク型福祉社会を実現する活動を展開し、未来に希望を持ち、チェンジメーカーとなる青年を育みます」とVISION2020で示しています。今回は、YMCA学院高等学校を卒業し、音楽の分野でチェンジメーカーとして活躍中の松永貴志さんにインタビューを行いました。



松永 貴志さん

1986年兵庫県生まれ。5歳でピアノを始め、15歳でプロデビュー。現在は演奏家として活動する一方で「報道ステーション」(テレビ朝日系)のテーマ曲を手がけるなど作曲家としても活躍。YMCA学院高等学校第1期生。

松永さんは、5歳からピアノを始められたのですか。
松永 ピアノを本当に始めたのは11歳からです。きっかけは家にピアノがあったからですね。
松永 いえ、独学ですね。
松永 自分で興味を持たれて始められたのですか。

松永さんは、5歳からピアノを始められたのですか。
松永 いえ、独学ですね。
松永 自分で興味を持たれて始められたのですか。

学院高校の生徒や、YMCAに関わる若者たちに伝えたいメッセージはありますか。
松永 僕も在学中は夢に向かって努力をいっぱいしました。また、今回の大震災のように、いつ何が起こるかわからないのが人生の現実です。本当に後悔のないようにすることが大切です。あとは、人との関わり、つきあいを大事にすることです。一人の力ではどうやっても這い上がれない時でも、周りで助けてくれる人がいると開かれてくることがあります。各々の分野で人との関わりを大切にすることが大事だと思います。
大阪YMCAの使命にあるように、「すべての世代の人びと」と、そして「世界の人びとと力を合わせる」ところとが大切だということですね。ところで、以前「世界一のピアニストになること」と夢を語っていらっしやいました。これは今でも変わりはありますか。それとも新たに抱えている夢はありますか。

夢は「21世紀の音楽家」

松永 そうですね。小学6年生の秋かな。9月頃から本格的にピアノを始めましたね。
松永 その中でプロを目指そうとされたのは何かきっかけがあったのでしょうか。
松永 セミプロ状態でしたので、高1の時にプロデビューをして活動を開始しました。ちょうど10年が経ちました。YMCA学院高校に在学中はすでにプロ活動をされていたということですね。
松永 そうですね。
松永 一学年と両立するためにYMCA学院高校を選ばれたのでしょうか。
松永 第一期生だったんです。まだどんな高校かわからずに、単位制・通信制の高校で、自由な時間を作れるか

松永 そうですね。小学6年生の秋かな。9月頃から本格的にピアノを始めましたね。
松永 その中でプロを目指そうとされたのは何かきっかけがあったのでしょうか。
松永 セミプロ状態でしたので、高1の時にプロデビューをして活動を開始しました。ちょうど10年が経ちました。YMCA学院高校に在学中はすでにプロ活動をされていたということですね。
松永 そうですね。
松永 一学年と両立するためにYMCA学院高校を選ばれたのでしょうか。
松永 第一期生だったんです。まだどんな高校かわからずに、単位制・通信制の高校で、自由な時間を作れるか

松永 そうですね。小学6年生の秋かな。9月頃から本格的にピアノを始めましたね。
松永 その中でプロを目指そうとされたのは何かきっかけがあったのでしょうか。
松永 セミプロ状態でしたので、高1の時にプロデビューをして活動を開始しました。ちょうど10年が経ちました。YMCA学院高校に在学中はすでにプロ活動をされていたということですね。
松永 そうですね。
松永 一学年と両立するためにYMCA学院高校を選ばれたのでしょうか。
松永 第一期生だったんです。まだどんな高校かわからずに、単位制・通信制の高校で、自由な時間を作れるか

地の塩

▼未曾有の地震、津波が東北、関東地方を襲い、甚大な被害を自然や人々に与えています。そして原子力発電所の破損事故にともなう放射能汚染の不安は計り知れませ

ん▼旧約聖書の創世記によれば、天地創造の創り主である神は、最初に光、昼と夜を、空を、陸と海、植物を、太陽、月、星を、魚と鳥を、獣と家畜を、最後に人間を創られました。豊かな自然の営みが人間より先に誕生したこと、どれほど人間は自然によって愛され、豊かな自然の恵みの中で生かされているかを、知らされます。その自然を正しく用いる責任が人間にあります。その自然は愛した人間をも連れ去っていききました。いや、自然も人々の暮らしも傷ついてしまいました▼私は信じます。被災地の人々が長年この自然に「宜き程に従い、宜き程に逆らい」(二宮尊徳の思想)ながら築き上げてきた住み慣れたふるさとの瓦礫の中から、再生への道を歩み続けることを。国、自治体は住民を守るため、被災者が再びぬくもりのあるコミュニティを築けるように、回復、再建の実現に向かってその責務を負うことを。そして私たちは、「自然と人々の絆」を基にした「共生」(co-habitation of different values)共に居住する存在「小田実訳」へ、新たに歩み出したいのです。(克)



大阪YMCA学院日本語学科 2010年度卒業式「答辞」 INUI TATIANE CRISTINA DA SILVA さん (ブラジル出身)

成長を実感

皆さん、今から私は、自分のYMCAでの一年について少しお話ししたいと思います。まず、なぜ私はYMCAに来たのかについてお話しします。私は留学のためにわざわざ日本に...

談のつもりで「国の大統領になりたい」と答えました。父は笑うと思いましたが、真剣な顔でこう言いました。「それでいいですよ。なぜなら、人の大志こそが個人、家族や社会の向上に繋がるからです。だから高い目標を定めて、それを達成するために頑張らなさい」。

大阪YMCA国際専門学校 表現・コミュニケーション学科2期生 2008年度卒 吉田 博志さん

相談を受ける身に

私は中学校の時、不登校だったということもあり、表コミに入学した当初はどちらかというとおとなしい存在でした。悩みも多く、放課後には先生方に相談のつてもうこともよくありました。しかし学校生活に慣れるにつれ、逆に同級生から相談を受けるようになっていきました。友達に初めて相談された時は、「ええっ、僕に相談しているの!」とびっくりしました。

大阪YMCA国際専門学校 日本語学科 甘歌さん (中国内モンゴル出身)

楽しかった初級

私は2010年3月に大阪YMCA国際専門学校日本語学科を卒業したガンゲンと申します。現在、大阪教育大学の自然研究専攻で勉強しています。日本に来て、初めて知り合った日本人はYMCAの先生たちでした。日本語が下手で日本の生活が不安だった私たちにとっても優しくしてくれました。授業中、理解しにくい単語や文章な...

私たちはいつも身振り手振り、分かりやすく面白く学生に理解させてくれました。初級にいた半年が私にとって特に楽しかったです。日本語の勉強はもちろん、色々なイベントも開かれていました。大阪府立体育館での運動会、各国の留学生との交流会などです。日本人の小学生と一緒に行った淡路島の運動会では、自分の国の文化や料理を紹介しました。私は中国のモンゴル少...



数民族で、自分の民族、そしてモンゴル民族の生活や習慣などをみんなに伝えるのが好きで、このようなチャンスも多く与えられたことは一番うれしかったです。今、大学では臨床心理士になるための勉強に取り組んでいます。その中で、週に一度表コミにボランティアとして行っています。1年生の時、発音力や行動力のある人に影響を受けていました。2年生になると自分からいろいろなことを発言できるようになりました。その中で相談されるようになったのかもしれないです。表コミ時代に先輩やクラスメイトに助けられた経験がたくさんあるので、今度は自分がその役割を果たすことができたかなと思っています。



<左側がタチアナさん>

自分の目標に向かって 卒業

2010年度卒業生の答辞と先輩の声

◆食育コラム◆第2回



今回はYMCAとさぼり保育園で取り組んでいる食育を紹介します。食育を聞くとなんだか難しいことのように考えてしまいませんか。でも、食育とは、何かを特別にすることとは限りません。例えば、家で家族と一緒に食事をすることが、とても大切な食育の一つです。当園では、保育園にいなながらも、家庭で食事をする雰囲気を感じてもらえるようオーブンキッチンにしています。トントンと野菜を切る音やぐつぐつとお鍋を煮る音が聞こ...

え、ご飯の炊けるいい香りが漂ってきます。また保育室と繋がるカウンターからは、子どもたちが「今日の給食は何?」、「それなあに?」と興味津々に話しかけてきてくれます。調理をしている私たちの姿を日常的に見たり、材料が料理に変わっていく過程を見たり、コミュニケーションを図ることで小さい頃から自然に食に興味を持つようになりませんか。こんな小さなことが食育に繋がっていきます。(右原しのぶ・とさぼり保育園スタッフ)



～ミヤンマーから～ すぎうら まきこ 杉浦 眞喜子さん



子どもたちによる伝統舞踊 (パートナーシップ10周年記念式典にて)

たちと楽しい日々を送るようになり、卒業後も友達として交流を続けられる人がたくさんいますので、とてもうれしいことです。いい友達だけでなく、YMCAでは思考力のある、仕事に熱心な先生たちに出会いました。多くのことを教えてもらい、アイデアや意見の交換をして、日本や世界の様々な事情についてたくさん知識を身に付けることができました。何よりも、自分の思考力が非常に高くなり、物事について深く考えるようになりました。更に日本の文化や日本人の考え方についてたくさん習い、異文化の中で生きることが学びましたので、日本人と同等に生活することができると思っています。確かにこの一年は達成感のある一年でした。勉強のほかに子どもたちとの交流、通訳、そしてこのスピーチは私にとって貴重な経験でした。YMCAのおかげで、今の私



<左側がタチアナさん>

た。1年生の時、発音力や行動力のある人に影響を受けていました。2年生になると自分からいろいろなことを発言できるようになりました。その中で相談されるようになったのかもしれないです。表コミ時代に先輩やクラスメイトに助けられた経験がたくさんあるので、今度は自分がその役割を果たすことができたかなと思っています。

大阪YMCA国際事業ガイドライン (2007年5月23日常議員会策定) 大阪YMCA国際事業の目指すもの: 「私たちは、世界の人々との交わりの中で、学び、働き、共に生きる文化を創ります。」 大阪YMCA国際事業の活動の指針: 私たちはYMCAの国際プログラムをとおして...

スリランカ水害被災地支援募金のご報告 総額...42,033円 2010年の12月末頃から雨季に重なって2週間以上続いた豪雨が...スリランカの中央部から東部の広範囲にかけて洪水が発生しました。大阪YMCAでは、被災者緊急支援募金活動を3月31日まで実施いたしました。その結果、皆様のご協力により、総額42,033円の募金を集めることができました。感謝をもち、ご報告させていただきます。

新規会員 (堺) 南 奈緒 協力会員・賛助会社 (堺) 南 奈緒 株式会社イマイチノ水信金庫/清風商事株式会社/共栄化学株式会社/株式会社ワイサービス/株式会社甲南保険センター/日東化成株式会社/有限会社サイテック/エンタープライズ/株式会社サンケイビルメンテ/株式会社讀賣連合広告社 (2011年3月31日現在)

継続賛助会社 株式会社イマイチノ水信金庫/清風商事株式会社/共栄化学株式会社/株式会社ワイサービス/株式会社甲南保険センター/日東化成株式会社/有限会社サイテック/エンタープライズ/株式会社サンケイビルメンテ/株式会社讀賣連合広告社 (2011年3月31日現在)

YMCA通信

プログラムのご案内は、大阪YMCAのHPでもご覧いただけます。<http://www.osakaymca.or.jp>

—会員大会ご案内—

大阪キリスト教青年会会則25条により
2011年会員大会を次の通り開催します。

大阪キリスト教青年会
会長 中川 善博

日時 2011年5月28日(土)
14:30~16:00

会場 大阪YMCA会館
大阪市西区土佐堀1-5-6

プログラム

1. 会員表彰(奉仕の書に誌する会員)
2. 報告と協議
 - (1) 常議員の選任
 - (2) 2010年度事業および会計の報告
 - (3) 2011年度基本方針の説明
 - (4) 2011年度事業計画および予算の報告
 - (5) その他

傍聴について

維持会員(本年3月31日現在)以外の会員は、常議員会に届け出て傍聴することができます。希望者は5月6日(金)までに書面で大会事務局(大阪市西区土佐堀1-5-6 大阪YMCA統括本部)へお申し出ください。

創立記念礼拝のご案内

日時 2011年5月28日(土)
13:30~14:15

会場 大阪YMCA会館 10階チャペル
奨励 村山 盛芳 牧師(日本基督教団浪花教会)

第217回大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人々と共に祈る時(第3金曜日)を持っています。YMCAの様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

日時 5月20日(金)
7:30~8:30

奨励 北村知三さん(大阪ワイズメンズクラブ)
場所 大阪YMCA会館
問合せ 大阪YMCA国際・社会奉仕室
Tel 06-6441-0894
E-mail info@osakaymca.or.jp

北YMCA

毎月第一火曜日に日本基督教団豊中教会にて夕礼拝を行っています。礼拝堂にて、牧師先生だけでなく、北YMCAに関わる方々やリーダーから心温まるお話を聞いたり、心を落ち着かせる一時としています。日々の自分自身の足元を見つめ直し、また新たな気持ちで明日に向かって共に歩みを強める機会としています。是非共に祈る機会を持てればと思います。

5月22日(日)10:00から服部緑地ユースホステルにて、北YMCAウエルネスデーを予定しています。昨年はキーマカレー&ナン作り、ダッチオープンを使っのパン作り、リーダーたちとの楽しいゲーム大会などを予定していましたが、残念ながら雨で中止となってしまいました。今年は晴れることを祈って、たくさん楽しいイベントを準備しています。是非足を運んでみてください。

北YMCA
Tel 06-6867-4744
E-mail kita@osakaymca.or.jp

ご寄付

清水 勝 様より六甲山YMCAにご寄付をいただきました。感謝をもってご報告させていただきます。研修備品(プロジェクター、スクリーン、テレビ)を購入させていただきます。

3月11日に発生した東日本大震災から1ヵ月以上が経過しましたが、未だ復興の目処は立っておらず、全国のYMCAで被災地の支援活動が続けられています。

大阪YMCAでは各地域YMCAで緊急支援募金活動を実施、4月より日本YMCA同盟、仙台YMCAと協働し、被災地のニーズの聞き取り、物資の運搬等を担当するボランティアチームのコーディネートを中心に現地へのコーディネーターの派遣を開始しました。この活動は4月末まで継続し、その後は現地のニーズの変化に応じて新たな形での活動になる予定です。今後も支援活動の様子を紙面にて報告させていただきます。



震災復興支援活動報告

(以下、コーディネーターとして参加した福山武志スタッフの報告)

仙台市内は、ほとんど正常化し、被災前の日常と変わりなく過ごすことができる状態となっています。被災地に近い地域に優先して必要な物資を回しており、市内のコンビニはまだ品揃えがきびしい状況ですが、物を選ばなければ食糧にしろ、飲み物にしろ、それなりのものをそろえることもできます。飲食店はほとんど通常通りの営業を始めていて、不自由な状況といえます。

それと引き換え、一步海岸部の被災地へ行くと、まだまだ支援が必要な状況が続き、避難所での格差が出てきています。また、外部より被災地の状況を見学に来る方々が増えているようで、その渋滞のため瓦礫を運搬するダンプの動きがとれないような状況もあります。そのために緊急車両の許可書を掲示している車以外の通行を厳しく制限するようになりました。

仙台YMCAの状況としては、仙台市社会福祉協議会との協働の下、仙台YMCA内にボランティア支援センターを立ち上げ、ボランティア受け入れのための部屋の提供及び、支援のためのコーディネートを行っています。新年度の通常業務も同時並行で行わなければならないため、スタッフが疲弊している状況です。物的な支援はとりあえず一段落していますが、ボランティア支援センター業務をアレンジする人的な支援が継続して必要です。(2011年4月10日現在)

YMCA学院高等学校

前期スクーリング(授業)が5月6日(金)から始まります。

YMCA学院高等学校は、前期後期それぞれ9週間のスクーリング(授業)を行っています。前期は、5月6日(金)から7月中旬までの約2ヵ月間です。この期間は、元気な生徒たちの声が校舎の中に響き渡り活気に溢れます。また、総合学科の本校では、普通科目以外に「福祉、多文化共生、ウエルネス、情報処理、エコロジー」の5つの系列のユニークな総合専門科目の授業があります。例えば、『発達と保育』、『ジェンダー入門』、『5感で自然を感じよう』、『ボランティアを考える』などなど、「ちょっと受けてみたいな」と思うような講座がこれら以外にもたくさんあります。詳しくは、YMCA学院高等学校のホームページを一度ご覧ください。



YMCA学院高等学校
Tel 06-6779-5690
E-mail hsinfo@osakaymca.or.jp
HP <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

高槻YMCA・茨木YMCA

5月の心地よい季節、家族や友達と一緒に豊かな自然の中で遊びませんか?

高槻市摂津峡青少年キャンプ場にてウエルネスデーを実施します。そこに集う家族の方の交流や、新しい家族間の繋がりを大切にし、ユースボランティアリーダーと一緒に野外活動を体験します。摂津峡の豊かな自然の中で、ご家族、友達、リーダーたちと一緒に野外料理やポイントハイク、クラフトなどを行います。今年もたくさん笑顔と出会えるのを楽しみにしています。



日時 5月29日(日)10:00~14:00(予定)
場所 高槻市摂津峡青少年キャンプ場
対象 高槻YMCA・茨木YMCAメンバー、ご家族、ご友人

高槻YMCA・茨木YMCA
Tel 072-682-1322
E-mail takatsuki@osakaymca.or.jp

六甲山YMCA

六甲山では夏山開き「グルーム祭」が6月5日(日)に行われます。YMCAから会場の記念碑台まで「寒氷」を運び込みます。六甲山では、冬に山上の池でできた氷を氷室で保管し、夏に山上から神戸市街地に運んで販売した歴史があります。冬に開催した「六甲山氷の祭典」で使った氷を、YMCA内にある氷室で貯蔵しています。是非皆さんも、越冬した氷を運んでみませんか?

六甲山YMCAでは、こういった山行事や、施設内の環境整備ボランティアを募集しています。六甲山の自然の安らぎの中で、緑化や施設の整備など、それぞれの得意分野でボランティアをしながらリフレッシュしていただけます。詳細は、六甲山YMCAまでお問い合わせください。



六甲山YMCA
Tel 078-891-0050
E-mail rokko@osakaymca.or.jp

YMCAあわさ保育園

新しい年度がスタートして約1ヵ月。柵などで仕切られたオープンな保育室で、子どもたちは友達と遊び、先生と歌い、また厨房からのご飯の炊けるにおい等を感じながら日々過ごしています。1~2歳児クラスの子どもたちは、天気の良い日に近隣の公園へ散歩に出かけることもあります。新しい環境には少しずつ慣れてきたとはいえ、個人差があり、遊びが広がってきても、眠りが浅くおんぶや抱っこで、ようやく寝つく園児もいます。入園や進級をした子どもたちは新しい出会いや生活を毎日体験し、笑顔もみせてくれるようになっていきます。子どもたちが安心して保育園で生活できるように、一人ひとりに寄り添う保育をしています。



YMCAあわさ保育園
Tel 06-4390-4191
E-mail awaza-hoikuen@osakaymca.or.jp